

タイ・マヒドン大学シリラート病院の皆様が 竹川病院の視察に訪れました

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



2024年7月30日（火）、タイ・マヒドン大学シリラート病院の皆様が竹川病院の視察に訪れ、リハビリテーション施設の見学会と情報交換を行いました。

タイ初の国立医科大学であるマヒドン大学シリラート病院のリハビリテーション医学部御一行が、竹川病院と関連施設ケアセンターけやきの視察に訪れました。去る3月には、私がシリラート病院を訪問し、Dr.Piyapat Dajprathamと面談し病院施設を見学しました。

タイのリハビリテーション医療の印象は、まだまだ発展途上にあると感じましたが、今回の訪問で日本の最先端のリハビリテーションの様子を見学していただき、今後連携を深めながらタイのリハビリテーション医療にも貢献していきたいと思っています。今回の視察は、意見交換含めて大変有意義な内容となりましたので、当日の様子を紹介します。



まずは竹川病院の会議室にて、原田俊一院長と金丸晶子先生、ねりま健育会病院の酒向正春院長が皆様をお出迎えし、それぞれ挨拶を行いました。



シリラート病院からは、リハビリテーション医学科長のAssoc. Prof. Piyapat Dajpratham, MD、品質開発副学科長のAsst. Prof. Thanitta Thanakiatpinyo, MD、理学療法部長のMiss Junjira Keidwon、上級理学療法士のMiss Rungsima Yamtate、作業療法部長のMiss Nisakorn Kongsri、上級作業療法士のMiss Panintorn Kongkateyai、心理カウンセリングユニット部長のMiss Pachara Limumpai、合計7名が来訪されました。



挨拶の後には、竹川病院のチームリハビリテーション医療について、リハビリ機器や回復症例を含めた紹介VTRの放映も行いました。



見学は竹川病院からスタートし、1階のウェルウォーク、2階の回復期病棟とリビングルーム、5階のリハ室と屋上を回って説明と意見交換を実施しました。



続いて関連施設ケアセンターけやきでは、1階の通所リハビリテーションセンター（デイケア）と4階のグループホームを見学。



最後は竹川病院に戻って質疑応答の時間を設け、日本やタイにおけるリハビリテーション医療、高齢者医療の現状や、各国の保険診療制度、介護保険制度の仕組みなどについて意見交換を行いました。また、ねりま健育会病院で推奨しているアグレッシブリハビリテーション医療についても説明をしました。



今回の視察をきっかけに、タイからのセラピストの人材交流や医学生の研修受け入れ等について連携協定を結びながら、様々な方面からの連携をしていきたいと考えています。